

## 令和5年度 水源の森 秋の自然観察会

日時：2023年10月28日（土）

場所：福岡市早良区曲淵ダム周辺

昨年に引き続き今年も、福岡市水道局主催の自然観察会に講師として参加しました。

参加者は、福岡市民（応募者多数のため抽選で選ばれた方々）24名、水道局スタッフ5名、講師4名でした。

11:00に参加者の皆さんを乗せたバスが曲淵公民館に到着し、まず30分間の座学として、脊振山地の成り立ちや水源の森としての役割について説明を行いました。

水道の蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水がどこから来るのか、普段はあまり考えないと思いますが、皆さん熱心にうなずきながら話を聞いていただきました。

昼食の間に展示した色々な樹木の材の見本とドングリも、手に取って材の匂いや手触りの違いを確かめたり、検索表を見ながらドングリの観察をしたりと、興味をもっていただきました。

12:35から4班に分かれ、約2kmのコースを2時間かけて歩き、自然観察を行いました。

ツリフネソウの種子が勢いよくはじけ飛ぶのに驚いたり、この甘い香りはどこから来るのだろうかとかツラの木の周りを見回したり、むかご採りに励んだり・・・と皆さんそれぞれが秋の自然を楽しんでおられました。

薬効のある植物（イタドリやヒキオコシなど）や染料になる植物（アカネ）など、昔の人が様々な形で森の恵みを利用してきたことも紹介しました。また、広葉樹の森とスギやヒノキの人工林の違いに目を向けて、改めて森林を適切に管理し手入れをすることの大変さや重要性にも、思いをはせることができました。

午後には晴れ間が広がり、最後は炭火焼のいい匂いに誘われて曲淵公民館に戻り、15:00に終了となりました。



水源の森には、多様な動植物が生息し、様々な恵みを私たちに与えてくれます。



スタッフ：手嶋、田川、千田、丸山（記録）